



USB-MIDI INTERFACE UX96

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

-  記号は、危険、警告または注意を示します。
-  記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
-  記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

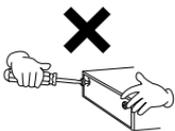


警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



USBケーブルがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに USB ケーブルを抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



手入れをするときは、必ず USB ケーブルを抜く。また、濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



USBケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、USB ケーブルに重いものをのせない。USBケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。



使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ず USB ケーブルを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またはこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときには、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック / ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。



これは日本電子工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、楽しい生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ USB-MIDI インターフェース UX96 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

UX96 は、USB による高速データ転送と、最大 96 チャンネル同時演奏を可能にした MIDI インターフェースです。USB 端子装備のコンピュータと接続して、パワフルなコンピュータミュージックをお楽しみください。

UX96 の優れた機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管されますよう重ねてお願い申し上げます。

目次

UX96 の特長	5
パッケージの内容	6
動作環境	7
仕様	7
各部の名称と機能	8
接続について	9
ドライバのインストール	10
ドライバの設定変更 (MIDI パッチ画面)	20
故障かな? と思ったら (Q&A)	25
ユーザーサポートのご案内	28
保証とアフターサービス	30

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- OMS[®] および **OMS**[™] は、Opcode Systems, Inc. の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

UX96 の特長

96 チャンネル同時演奏

MIDI IN/OUT 端子と TO TG/INST 端子（コンピュータのシリアルポートに相当）を同時に使用することができます。これにより、MIDI OUT が 6 ポート（96 チャンネル）、MIDI IN が 2 ポート（32 チャンネル）の音楽制作環境をサポートします。

ケーブルをつなぐだけの簡単接続

USB で接続するので、コンピュータの電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しができます。また、USB のバス電源を使用するので、電源アダプターも必要ありません。

USB による高速データ転送

USB で接続するので、マルチポートの同時演奏でも優れた応答性が得られます。

Windows と Macintosh に対応

Windows 98/Me/2000 および Mac OS8.5 以上（9.1 まで含む）に対応しています。

MIDI パッチ機能

ドライバの MIDI パッチ（パッチベイ）機能により、ケーブルを抜き差しすることなく、MIDI 機器の結線状態を変更できます。

USB に関するご注意

以下の状態で USB ケーブルの抜き差しをすると、コンピュータがハングアップしたり、UX96 の機能が停止したりする恐れがあります。

- デバイス認識中またはドライバロード中
- OS 起動途中または終了途中
- サスペンド（スリープ）、レジューム中
- MIDI アプリケーションが起動している状態

また、以下の行為をすると、同様にコンピュータがハングアップしたり、UX96 の機能が停止したりする恐れがあります。

- 頻繁なケーブルの抜き差し
- MIDI データ転送中のサスペンド（スリープ）モードへの移行、レジューム
- 大量にデータが流れている状態でのケーブルの抜き差し、コンピュータの起動 / 終了、またはドライバのインストール / アンインストール

(NOTE) Windows 2000 をお使いの場合、USB ホストコントローラなどの環境によって、サスペンド / レジュームできない場合があります。（その場合でも、USB ケーブルを接続し直すと、UX96 は正常に動作します。）

パッケージの内容

UX96 のパッケージの中には、次のものが入っています。箱を開けたらまず入っているものをご確認ください。

- USB-MIDI インターフェース (UX96 本体)
- CD-ROM (Windows/Macintosh ハイブリッドCD)
- USB ケーブル
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

付属ソフトについて

同梱の CD-ROM には以下の付属ソフト (ドライバ) が入っています。

【Windows の場合】

- USB-MIDI ドライバ (YAMAHA USB-MIDI Driver)
UX96 を動作させるために必要なドライバです。
インストール方法について詳細は、P.11 をご参照ください。

【Macintosh の場合】

- OMS
Opcode 社より提供されている Macintosh 用 MIDI ドライバです。
インストールおよび使用方法の詳細については、P.15 および付属の OMS マニュアル「OMS2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。
- USB-MIDI ドライバ (YAMAHA USB-MIDI Driver)
UX96 を動作させるために必要なドライバです。
必ず OMS をインストール後にインストールしてください。インストール方法について詳細は、P.15 をご参照ください。

動作環境

【Windows の場合】

対応 OS :	Windows98/98SE/Me/2000
対応コンピュータ :	NEC PC98-NX シリーズ /IBM-AT ならびに互換機 (USB 端子装備)
CPU :	Pentium/166MHz 以上 (Celeron 含む)
メモリ :	32MB 以上 (64MB 以上推奨)
ハードディスク :	2MB 以上の空き容量

【Macintosh の場合】

対応 OS :	MacOS 8.5 以上 (9.1 まで含む)
対応コンピュータ :	USB 端子を標準装備した Macintosh コンピュータ

(NOTE) ただし、一部の iMac については、アップルコンピュータ社が提供する「iMac アップデート 1.1」をインストールする必要があります。このプログラムでは、USB ソフトウェアの改良が行なわれています。詳細については、アップルコンピュータ社のホームページ (<http://www.apple.co.jp/>) などをご覧ください。

メモリ : 64MB 以上 (128MB 以上推奨)

(NOTE) ただし、仮想メモリは「切」にしてください。

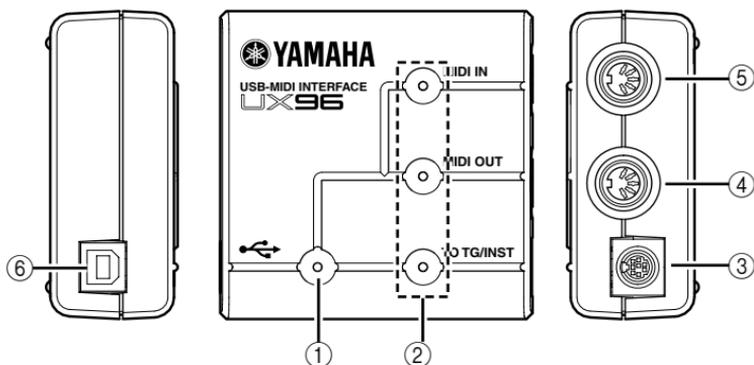
ハードディスク : 2MB 以上の空き容量
その他 : OMS 2.3.3 以上 (同梱 CD-ROM に付属)

仕様

接続端子 :	MIDI IN 端子、MIDI OUT 端子、TO TG/INST 端子、USB 端子
電源 :	USB のバス電源
外形寸法 :	77(W) × 77(D) × 33(H) [mm]
質量 :	80g
別売品 :	シリアルケーブル YAMAHA CCJ-TG または CCJ-MAC

仕様および外観は改良のため予告無く変更する場合があります。

各部の名称と機能



- ① 電源 LED
USB 端子が接続されて UX96 に電源が供給されると点灯します。
- ② 各端子の LED
各端子に MIDI 信号が流れると点灯します。
- ③ TO TG/INST (トゥーティージー / インスト) 端子
UX96 と MIDI 機器の TO HOST (コンピュータ) 端子を接続する端子です。接続には別売のシリアルケーブル YAMAHA CCJ-TG または CCJ-MAC (市販品の場合は、システムペリフェラルケーブル 8 ピン) をご使用ください。
- ④ MIDI OUT (メディアウト) 端子
MIDI 機器へ MIDI 信号を送信する端子です。接続には別売の MIDI ケーブルをご使用ください。
- ⑤ MIDI IN (ミディイン) 端子
MIDI 機器からの MIDI 信号を受信する端子です。接続には別売の MIDI ケーブルをご使用ください。
- ⑥ USB (ユーエスピー) 端子
USB ケーブルでコンピュータや USB ハブと接続する端子です。

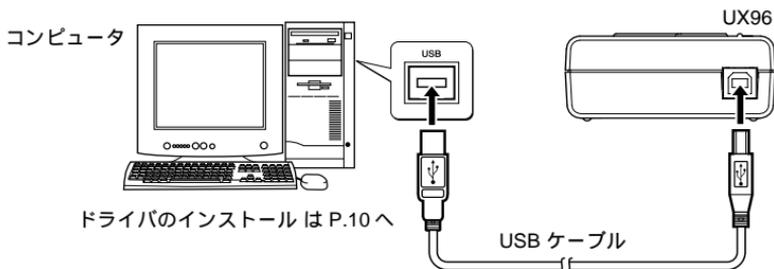
NOTE このとき、MIDI 機器の HOST SELECT スイッチは、お使いのコンピュータにかかわらず、「PC-1」または「Mac」に設定します。

接続について

ここでは、UX96 を使って、音源やキーボードなどの MIDI 機器とコンピュータを接続する方法を説明します。

1. コンピュータとの接続

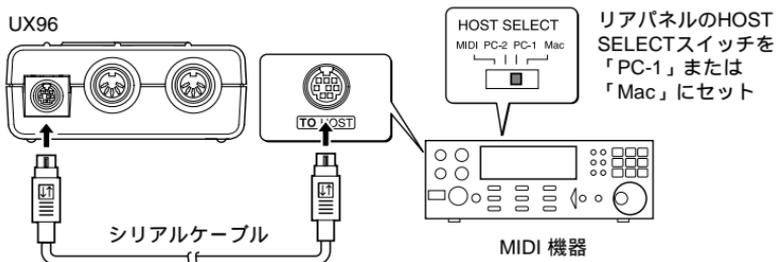
コンピュータの USB 端子と UX96 の USB 端子を USB ケーブルで接続します。このとき、コンピュータの電源を切っておく必要はありません。



2. TO TG/INST 端子と MIDI 機器との接続

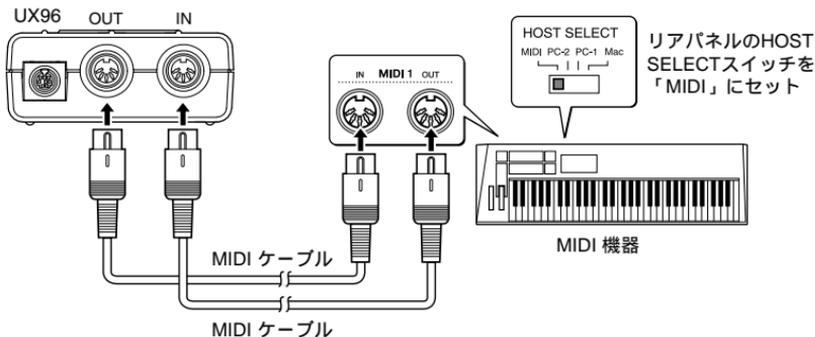
MIDI 機器の TO HOST (コンピュータ) 端子と UX96 の TO TG/INST 端子を別売のシリアルケーブル (YAMAHA CCJ-MAC など) で接続します。このとき、MIDI 機器の HOST SELECT スイッチは、お使いのコンピュータにかかわらず「PC-1」または「Mac」に設定します。

TO TG/INST 端子で接続すると、MIDI OUT が 5 ポート (80 チャンネル)、MIDI IN が 1 ポート (16 チャンネル) のマルチポートとして音源をコントロールすることができます。



3. MIDI 端子と MIDI 機器との接続

MIDI 機器の MIDI IN 端子と UX96 の MIDI OUT 端子を別売の MIDI ケーブルで接続します。同様に MIDI 機器の MIDI OUT 端子と UX96 の MIDI IN 端子を接続します。このとき、MIDI 機器の HOST SELECT スイッチは「MIDI」に設定します。



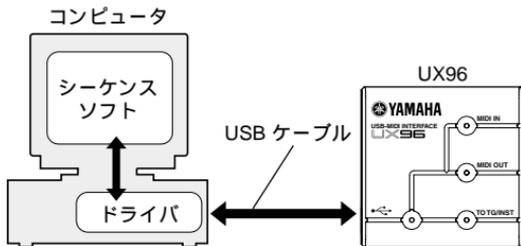
ドライバのインストール

UX96 を実際に使用するためには、コンピュータにドライバを正しくインストールする必要があります。

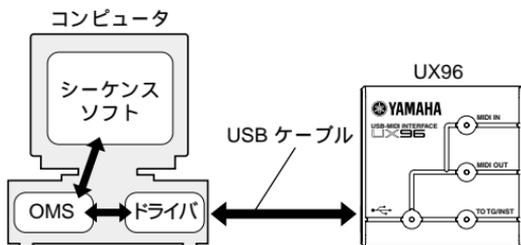
USB-MIDI ドライバは、シーケンスソフトから USB ケーブルを通じて、UX96 に MIDI 信号を送信したり、逆に UX96 からシーケンスソフトに MIDI 信号を送信したりするためのソフトウェアです。

また、Macintosh をお使いの場合は、USB-MIDI ドライバとは別に、OMS (P.15) もインストールする必要があります。

■ Windowsの場合



■ Macintoshの場合



Windows 98/Me をお使いの場合 P.11

Windows2000 をお使いの場合 P.13

Macintosh をお使いの場合 P.15

[Windows の場合]

Windows 98/Me へのインストール

(NOTE) お使いの CD-ROM ドライブのドライブ名 (D:、E:、Q: など) をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中の CD-ROM アイコンの下に表示されています。(CD-ROM ドライブのルートディレクトリはそれぞれ D:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

1. コンピュータを起動します。
2. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
3. 付属の USB ケーブルで、コンピュータ (または USB ハブ) の USB 端子と、UX96 の USB 端子を接続します。
UX96 の電源が入り、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。

(NOTE) Windows Me をお使いの場合は、「適切なドライバを自動的に検索する (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて [次へ] をクリックします。ドライバの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順 8 へお進みください。ドライバが検出されない場合は、「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROM ドライブのルートディレクトリ (D:¥ など) を指定してインストールしてください。

Windows 98



Windows Me



4. [次へ] をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



5. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバのインストール元を選択する画面が表示されます。



6. 「CD-ROM ドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

(NOTE) ドライバの検出中に Windows の CD-ROM を要求してくる場合がありますが、読み込み先として CD-ROM ドライブのルートディレクトリ (D:* など) を指定してインストールを続行してください。

7. CD-ROM 中のドライバを検出し、インストールの準備が終わると、次の画面が表示されます。
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。



8. インストールが終わると、次の画面が表示されます。

[完了]をクリックします。

(NOTE) コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

Windows 98



Windows Me



これで、ドライバのインストールは完了しました。

Windows 2000 へのインストール

1. コンピュータを起動して、administrator 権限のあるアカウントで Windows 2000 にログインします。
2. [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [システム] [ハードウェア] [ドライバの署名] [ファイルの署名の確認]で「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
3. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
4. 付属の USB ケーブルで、コンピュータ（または USB ハブ）の USB 端子と、UX96 の USB 端子を接続します。
UX96 の電源が入り、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。[次へ]をクリックします。
5. 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバのインストール元を選択する画面が表示されます。
6. 「CD-ROM ドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

(NOTE) ドライバの検出中に Windows の CD-ROM を要求してくる場合がありますが、読み込み先として CD-ROM ドライブのルートディレクトリ (D:¥ など) を指定してインストールを続行してください。

7. インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。
[完了]をクリックします。

(NOTE) コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

8. コンピュータを再起動します。
これで、ドライバのインストールは完了しました。

MIDI 信号出力先の設定

ここでは、Windows に付属の「Windows Media Player」のようなアプリケーションで UX96 を使うための設定を行います。お使いのシーケンスソフトでの設定については、シーケンスソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。

Windows Me



Windows 98



1. 「マイコンピュータ」、「コントロールパネル」、「サウンドとマルチメディア (マルチメディア)」をダブルクリックして開きます。

(NOTE) Windows Me をお使いで、「コントロールパネル」の中に「サウンドとマルチメディア」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

2. 「オーディオ (MIDI)」のタブをクリックします。
3. 「MIDI 音楽の再生」の「優先するデバイス」をクリックすると、「YAMAHA USB OUT xx-yy」の表示を確認することができます。接続している MIDI 機器のポート番号に合わせてドライバを選択します。また、Windows Me をお使いの場合は、「優先するデバイスのみ使う」にチェックを入れます。

(NOTE) xx はデバイス番号 (P.21)、yy はポート番号 (P.20) を表しています。UX96 を 1 台のみ接続している場合、デバイス番号は 0 となります。
例) YAMAHA USB OUT 0-1、YAMAHA USB OUT 0-2 など

(NOTE) Windows 98 をお使いの場合は、「単一の機器」が選択されている状態でドライバを選択します。

(NOTE) 「YAMAHA USB OUT xx-yy」が表示されない場合は、ドライバが正しくインストールされていません。ドライバを削除して (P.26) 再インストールしてください。

4. [OK] をクリックします。

UX96 を 2 台以上接続する場合

2 台目以降の UX96 を接続する場合は、以下の手順で接続します。ドライバを新たにインストールする必要はありません。

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルで、コンピュータ（または USB ハブ）の USB 端子と、UX96 の USB 端子を接続します。

NOTE 2 台以上の UX96 を接続した場合のデバイス番号は、接続した順に、0、1、2、3、...と割り振られます。同時に接続した場合は、接続している USB ハブのポート番号順になります。ただし、USB ハブによってはこの順番が変わる場合があります。

[Macintosh の場合]

USB-MIDI ドライバをインストールする前に、OMS がインストールされている必要があります。また、ドライバインストール後に、OMS のセットアップ (P.17) が必要になります。

OMS のインストール

1. コンピュータを起動します。
2. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。
3. CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開き、「OMS J」の中の「OMS 2.3.3J」フォルダの中の「Install OMS 2.3.3J」のアイコンをダブルクリックします。

以下、画面の指示に従ってインストールしてください。OMS のインストールおよび使用方法の詳細については、付属の OMS マニュアル「OMS2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。

USB-MIDI ドライバのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。
3. CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開き、「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。

インストール画面が起動します。



4. 「Install Location」(インストール場所)というボックスに、インストール先が表示されます。インストールするディスクやフォルダを変えたい場合は、[Switch Disk](ディスク切り替え)やプルダウンメニューを使い、インストール先を選択してください。

(NOTE) 通常は起動ディスクが自動的に表示されるので、インストール先を変更する必要はありません。

5. [Install](インストール)をクリックすると、「ソフトウェアインストール後、コンピュータを再起動する必要があります。"Continue"をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。」という英語のメッセージが表示されます。[Continue]をクリックしてください。

(NOTE) インストールを中止したい場合は、[Cancel]をクリックしてください。

6. インストールが開始されます。ドライバがすでにインストールされている場合、以下のようなメッセージが表示されます。手順 3 にもどる場合は [Continue] を、インストールを終了する場合は [Quit](終了)をクリックします。



7. インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピュータを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart] (再起動) をクリックしてください。自動的にコンピュータが再起動します。
また、以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているのを確認することができます。

- 「システムフォルダ」: 「コントロールパネル」: 「YAMAHA USB MIDI Patch」
- 「システムフォルダ」: 「機能拡張」: 「USB YAMAHA MIDI Driver」
- 「システムフォルダ」: 「OMS Folder」: 「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

OMS のセットアップ

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルで、コンピュータ (または USB ハブ) の USB 端子と、UX96 の USB 端子を接続します。
UX96 の電源が入り、電源 LED が点灯していることを確認します。
3. ハードディスクにインストールされた「Opcode」フォルダの中の「OMS アプリケーション」フォルダを開き、「OMS Setup」アイコンをダブルクリックして起動します。
4. Apple Talk ダイアログが表示される場合は、[オフにする] をクリックし、その後に表示されるダイアログで [OK] をクリックします。
5. 新規セットアップ作成ダイアログが表示されます。新規セットアップ作成ダイアログが表示されない場合は、「ファイル」メニューの「新規セットアップ」を選択してください。
6. [OK] をクリックします。OMS ドライバ検索ダイアログが表示されますので、Modem および Printer のチェックボックスをはずして、[検索] をクリックします。



7. 検索終了後、OMS ドライバ設定ダイアログに「USB-MIDI 1」がリストアップされていることを確認して、[OK] をクリックします。

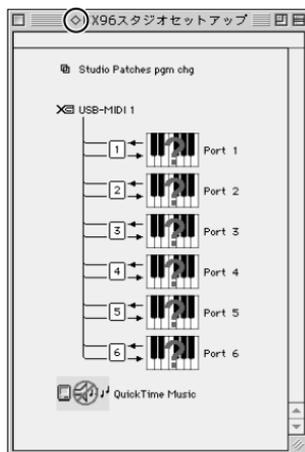
- NOTE** UX96 を正しく検出できなかった場合は、「USB-MIDI 1」が表示されません。ケーブルの接続などを見直し、もう一度最初から作業をやり直してください。
- NOTE** iMac をお使いで正しく検出できなかった場合は、「iMac アップデート 1.1」(P.7) の未インストールが原因である可能性もあります。
- NOTE** UX96 が複数接続されている場合は、接続台数分の「USB-MIDI x」が表示されます。

8. OMS MIDI デバイス設定ダイアログに「USB-MIDI 1」がリストアップされていること、Port 番号が複数見えていることを確認します。Port 1 から Port 6 の左側のチェックボックスすべてにチェックマークを付けます。
[OK] をクリックします。

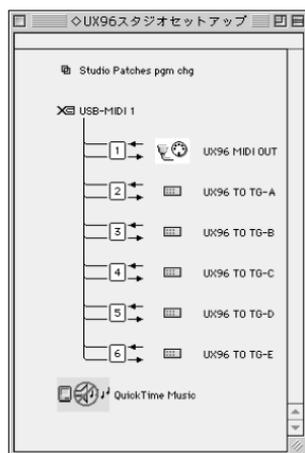


9. 設定ファイルを保存するダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。(ここでは「UX96 スタジオセットアップ」というファイル名にしています。)

10. ファイルの保存を終了すると、以下のウィンドウが表示されます。
ファイル名の先頭に「 」マークが付いていれば、設定完了です。



また、ポートごとに名称およびアイコンを変更すると、以下のようにより見やすいセットアップにすることができます。詳しくは、付属の「OMS2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。



これでドライバのインストールおよび OMS のセットアップが完了しました。

UX96 を 2 台以上接続する場合

UX96 を複数接続した状態で、OMS のセットアップ (P.17) を行ないます。

ドライバの設定変更 (MIDI パッチ画面)

必要に応じて、コンピュータ側で選択するポート番号と UX96 の入出力端子の関係を変更することができます。

シーケンスソフトなどのアプリケーションは、ドライバを通じて UX96 と MIDI 信号の送受信を行なっています (P.10)。UX96 は MIDI IN/OUT 端子と TO TG/INST 端子を持っており、使用する UX96 の入出力端子はコンピュータ側 (シーケンスソフト上) で選択します。このとき、ドライバの設定を変更することにより、ケーブルをつなぎ変えることなく、これらの関係を変更することができます。

例えば、複数のポートに同じ MIDI 信号を送信したり、複数のポートから一つのポートへ MIDI 信号を重ねて送信したりすることができます。また、MIDI IN から MIDI OUT へ直接 MIDI 信号を出力することもできます。

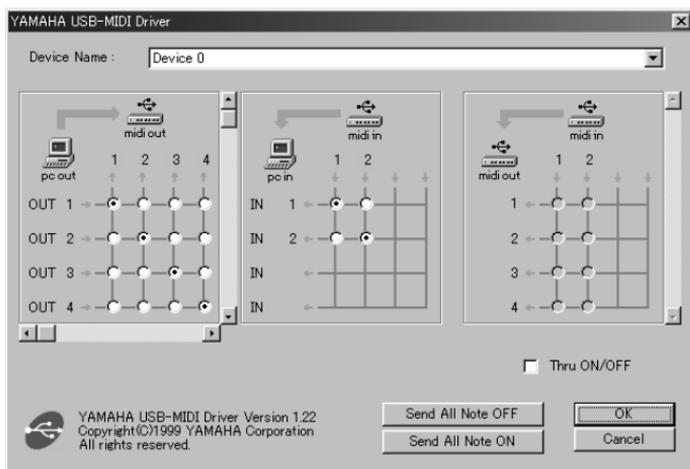
ポート番号と入出力端子の関係は、以下のようになっています。また初期設定では、これらのポート番号とコンピュータ側のポート番号が一致しています。

ポート番号	MIDI 出力端子	MIDI 入力端子
ポート 1	MIDI OUT	MIDI IN
ポート 2	TO TG/INST -A	TO TG/INST
ポート 3	TO TG/INST -B	—
ポート 4	TO TG/INST -C	—
ポート 5	TO TG/INST -D	—
ポート 6	TO TG/INST -E	—

NOTE TO TG/INST 端子に接続した MIDI 音源がマルチポートに対応してない場合は、B ~ E ポートを選択しても無効になります。

● MIDI パッチ画面の起動

起動方法および画面は Windows と Macintosh で多少異なりますが、基本的な MIDI パッチ画面の操作方法は同じです。また、以下の操作説明では Windows の画面を使用しております。



【Windows の場合】

1. 「マイコンピュータ」の中での「コントロールパネル」をダブルクリックして開きます。
2. 「MIDI-USB Driver」をダブルクリックして起動します。

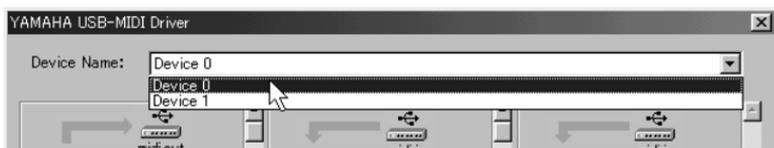
【Macintosh の場合】

「アップルメニュー」から「コントロールパネル」の中の「YAMAHA USB MIDI Patch」を選択すると起動します。

● デバイス番号の変更

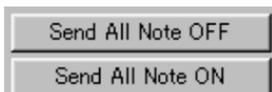
複数の UX96 を接続している場合は、必要に応じてデバイス番号を変更できます。「Device Name」の表示をクリックすると、ドロップダウンリストが表示されるので、設定を変更したいデバイスを選択します。

(NOTE) Macintosh の場合は、「Device Name」として 1 台目から順に「USB1」、「USB2」、…と割り振られます。



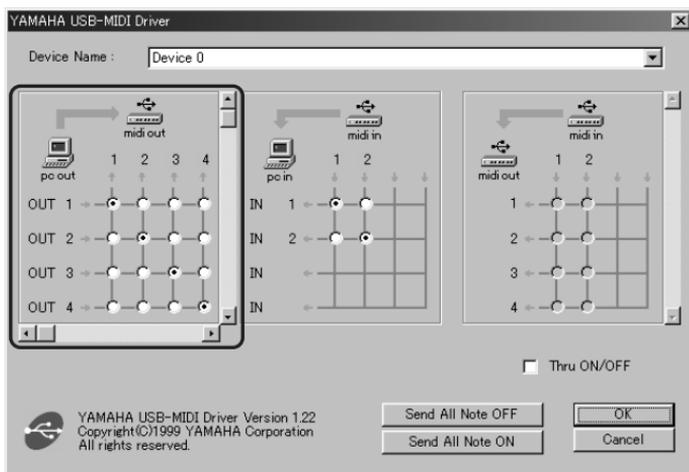
●信号送信の確認

MIDI機器が正しく接続されているかどうかを確認するために、MIDI信号を送信することができます。



- ノートオフメッセージ
[Send All Note OFF] をクリックすると、UX96のすべてのポートにオールノートオフのMIDI信号が送信されます。
- ノートオンメッセージ
[Send All Note ON] をクリックすると、UX96のすべてのポートにノートオンのMIDI信号が送信されます。

●再生時の接続の変更 (PC OUT → MIDI OUT)

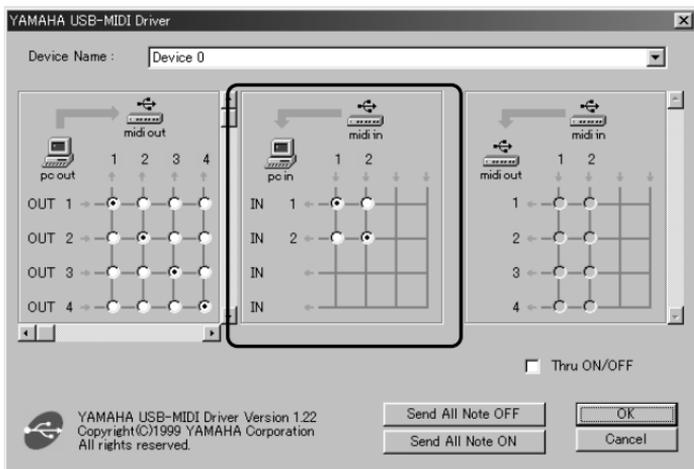


コンピュータの出力ポートからUX96の出力ポートへの入出力関係を変更することができます。左のOUT1～6がコンピュータの出力ポートを、上の1～6がUX96の出力ポートを表しています。初期設定では、それぞれ同じ番号どうしが接続されていますが、チェックボックスにチェックを入れることにより、変更することができます。

縦方向に複数のチェックをつけた場合は、コンピュータの複数の出力ポートからのMIDI信号を重ねて（マージ）、UX96の一つの出力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、コンピュータの一つの出力ポートからのMIDI信号を、UX96の複数の出力ポートに送信します。

(NOTE) UX96の入出力端子とポート番号の関係については、P.20をご覧ください。

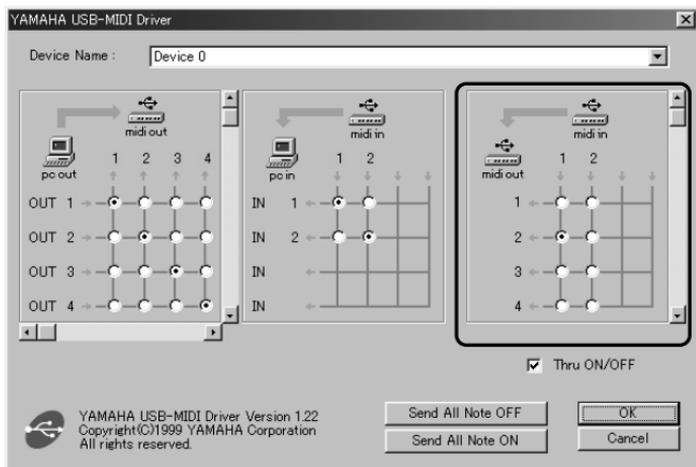
録音時の接続の変更 (MIDI IN PC IN)



UX96 の入力ポートからコンピュータの入力ポートへの入出力関係を変更することができます。左の IN1 と 2 がコンピュータの入力ポートを、上の 1 と 2 が UX96 の入力ポートを表しています。初期設定では、それぞれ同じ番号どうしが接続されていますが、チェックボックスにチェックを入れることにより、変更することができます。縦方向に複数のチェックをつけた場合は、UX96 の一つの入力ポートからの MIDI 信号を、コンピュータの複数の入力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、UX96 の複数の入力ポートからの MIDI 信号を重ねて (マージ) コンピュータの一つの入力ポートに送信します。

(NOTE) UX96 の入出力端子とポート番号の関係については、P.20 をご覧ください。

MIDI 信号のスルー (MIDI IN MIDI OUT)



UX96 の入力ポートで受信する MIDI 信号を、UX96 の出力ポートへ直接出力（スルー）することができます。MIDI キーボードなどからの MIDI 信号を、直接音源に出力したい場合などに便利です。左の IN1 ~ 6 が UX96 の出力ポートを、上の 1 と 2 が UX96 の入力ポートを表しています。またこの機能を有効にするには、画面右下の「Thru ON/OFF」にチェックを入れます。

縦方向に複数のチェックをつけた場合は、UX96 の一つの入力ポートからの MIDI 信号を、UX96 の複数の出力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、UX96 の複数の入力ポートからの MIDI 信号を重ねて（マージ）UX96 の一つの出力ポートに送信します。

NOTE UX96 の入出力端子とポート番号の関係については、P.20 をご覧ください。

NOTE Macintosh の場合、MIDI パッチ画面またはシーケンスソフトなどのアプリケーションが起動している時のみ、このスルー機能が有効となります。

故障かな？と思ったら（Q&A）

ドライバがインストールできない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？
USB ケーブルの接続を確認してください（P.9）。
一度 USB ケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- 【Windows の場合】お使いのコンピュータ側で USB が使用可能になっていますか？
初めて UX96 をコンピュータに接続した際、「新しいハードウェアの追加（検索）ウィザード」（P.11, P.13）が自動的に表示されないときは、コンピュータ側で USB を使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。
 1. 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
 2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USB ルートハブ」などに「！」や「x」のマークがついていないことを確認してください。
「USB ルートハブ」などに「！」や「x」のマークがついている場合は、USB が使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。
- 【Windows の場合】不明なデバイスが登録されていませんか？
何らかの原因によりドライバのインストールに失敗すると、UX96 が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。
 1. 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
 2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
 3. 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して [削除] をクリックします。
 4. USB ケーブルを UX96 から抜いて、接続し直します。
 5. 以下、P.11 の手順 3 に従って、ドライバをインストールし直します。

UX96 が正常に動作しない、または音が鳴らない

- ドライバはインストールしましたか（P.10）？
- USB ケーブル、MIDI ケーブル、シリアルケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか（P.9）？
- 音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- 音源の HOST SELECT スイッチは正しく設定されていますか？
MIDI IN/OUT 端子と接続している場合は「MIDI」に、TO TG/INST 端子と接続している場合は、「PC-1」または「Mac」に設定してください。
- ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？

- ドライバは最新のをインストールしましたか？
巻末に記載されているヤマハホームページから最新のドライバをダウンロードできます。

演奏がもたつく

- お使いのコンピュータは推奨環境を満たしていますか (P.7) ？
- 他のアプリケーションやデバイスドライバは動作していませんか？

【Macintosh の場合】

仮想メモリを「切」にしてください。
AppleTalkを「不使用」にしてください。

正常にサスペンド、レジュームができない

- MIDI アプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？
- Windows 2000をお使いの場合、USB ホストコントローラなどの環境によって、サスペンド / レジュームできない場合があります。(その場合でも、USB ケーブルを接続し直すと、UX96 は正常に動作します。)

ドライバの削除、再インストールがしたい

【Windows Me/98 の場合】

1. UX96 が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
2. 「デバイスマネージャー」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
3. MS-DOS プロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。

(NOTE) ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール (表示)」メニューから「フォルダオプション」を選択して、「すべてのファイル (とフォルダ) を表示する」に設定しておいてください。

- ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥YAMAHAUX96.INF
- ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.driv
- ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys

4. USB ケーブルを抜きます。
5. コンピュータを再起動します。
6. P.11 のドライバのインストールにしたがって、再インストールします。

【Macintosh の場合】

1. 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。
 - 「システムフォルダ」: 「コントロールパネル」: 「YAMAHA USB MIDI Patch」
 - 「システムフォルダ」: 「機能拡張」: 「USB YAMAHA MIDI Driver」
 - 「システムフォルダ」: 「OMS Folder」: 「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

2. コンピュータを再起動します。
3. ドライバのインストール (P.15) および OMS のセットアップ (P.17) をもう一度行ないます。

ユーザーサポートのご案内

■ 質問の受付について

ヤマハデジタル商品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に説明いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順どおりに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではCBX インフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

また、「接続機器（ご使用のパソコンの種類など）」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合はご返事できない場合があります。

ヤマハ CBX インフォメーションセンター

TEL : 053 - 460 - 1667

受付日 月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

■ 有償サポートサービスについて

1. 有償サポートサービスの内容

お客様が使用中に「UX96」のCD-ROMを破損された場合、有償でCD-ROMの内容を購入時と同等に修復（交換またはフロッピーによる修復）いたします。必要事項をご記入の上、手数料（¥3,000：消費税込み）と破損したCD-ROMを添え「有償サポートサービスのお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

- 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。
- お申し込みになる前に、必ずCBX インフォメーションセンターまでお電話でご連絡ください。

2. 有償サポートサービスのお申し込み方法

CBX インフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。
このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

1. 下記の有償サポートサービスの「破損 CD-ROM 修復申込書」に必要な事項を
れなくご記入の上、手数料とともに、CBX インフォメーションセンターまで現
金書留にてお送りください。
 - お客様からの CBX インフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負
担ください。
2. CD-ROM を送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を明記して、
CBX インフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、
郵送の途中で CD-ROM が破損しないように、十分注意して包装してください。
 - 普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を
負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - お申し込みいただきました CD-ROM (または修復データを収録したフロッ
ピー) は、手数料の確認の後、発送いたします。お申し込み後、2 週間過ぎ
ても製品が届かない場合は、CBX インフォメーションセンターまでご連絡
ください。

破損 CD-ROM の修復申し込み

有償サポートサービスの「破損 CD-ROM の修復」の申し込みをされる場合は、下の申
込書をコピーしてご使用ください。

「UX96」

破損 CD-ROM 修復申込書

ご住所：

お名前：

電話番号：

e-mail アドレス：

破損ディスク「UX96」CD-ROM

* 破損 CD-ROM の修復の手数料は ¥ 3,000 (消費税込) です。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

■ 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げ日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

■ 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後 8 年です。

■ 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

■ 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒 984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒 211-0025	川崎市中原区木月 1184	TEL (044) 434-3100
浜松サービスステーション	〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒 565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ (株) 千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒 760-0029	高松市丸亀町 8-7 (株) ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション	〒 731-0113	広島市安佐南区西原 6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内	TEL (053) 465-1158

■ デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

PA・DMI事業部 PE 営業部	〒 430-8650	静岡県浜松市中沢町 10-1	TEL (053) 460-2432
EM 営業統括部 北海道営業所	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台営業所	〒 980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10	TEL (022) 222-6147
営業推進課	〒 108-8568	東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5476
名古屋営業所	〒 460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28	TEL (052) 201-5199
大阪営業所	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
九州営業所	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2130

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/decbx/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイークラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com/>

@nifty

「GO FMIDIVA」コマンドで FMIDIVA に入ると、ヤマハデジタル楽器および DTM 製品のフォーラムがございます。

電子会議

#16 ヤマハ Synth & CBX 情報ボード

#17 ヤマハ Synth & CBX ユーザーズカフェ

#18 ヤマハ Synth & CBX 相談室

データライブラリー #8 ヤマハ / デジタル CBX

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。



この取扱説明書は
エコバルブ(ECF:無塩素系漂白バルブ)
を使用しています。



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

M.D.G., PA•DMI Division, Yamaha Corporation
© 2001 Yamaha Corporation

V754780 104APAP12.2-01A0 Printed in Japan